取扱説明書

S-31-LR

スピーカーシステム

このたびはパイオニアの製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をお読みください。特に「ご使用の前に」は必ずお読みください。取扱説明書は後々お役に立つこともありますので「保証書」、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

❗ 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

ご使用の前に

❗ このスピーカーシステムのインピーダンスは、6 Ωです。負荷インピーダンスが4 Ω～ 16 Ωのアンプ（スピーカー出力端子に4 Ω～ 16 Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

⚠ スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上を入力しない。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

⚠ 注意

［設置］

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器などに本機を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は市販のコードを使用してください。
- この製品は天井に吊り下げたり壁に掛けたりしないでください。落下してけがの原因となることがあります。
- 壁や天井に取り付けたり、棚の上など高い所に設置しないでください。グリルネットは取り外し可能な構造なので、きちんと取り付けていないと、グリルネットが外れて落ちたりしてけがの原因になることがあります。

［使用方法］

- 音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、故障や火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

付属品の確認

- スピーカーコード（3 m）× 2
- 固定金具× 2

- 固定金具用ネジ× 2

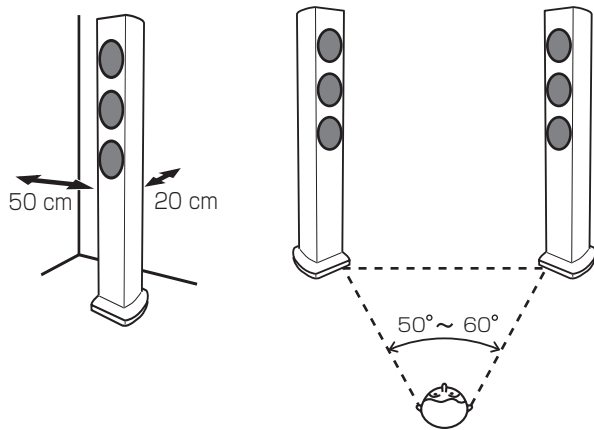
- すべり止め× 2 セット
- 保証書× 1
- ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内× 1
- 取扱説明書（本書）

キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で5 ～6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに付属の注意事項をよくお読みください。

設　置

設置のしかた

設置場所について

- スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でご使用ください。
- 設置場所は床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。後壁からの距離で低音の量感が調整できます。側壁からの距離で左右の音質差がないよう調整してください。
- 左右のスピーカーは、リスニングポジションに対して等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。
- 左右のスピーカーシステムの前面がテレビなどの画面となるべく同一平面になるように置いてください。
- テレビなどと組み合わせて、より良好な広がりのあるサウンドを実現するためには、テレビを左右のスピーカーシステムの中央に設置し、左右のスピーカーシステムをリスニングポジションから約 50°～60°の角度に設置するのが理想的です。
- 洋間など壁面が反射または共振しやすい部屋では壁面にはカーテンで、また底面へはじゅうたんなどで対策することをお勧めします。カーテンは部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで対策すると、定在波の発生を防ぎ良い結果が得られます。
- 和室など壁が透過性の場合は、スピーカーシステム背面をできるだけ壁に添わせるか、反射性の物を背面に設置することをお勧めします。

組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

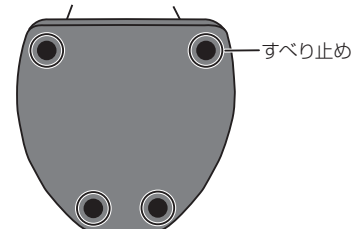
設置上のご注意

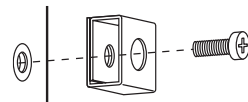
- スピーカーシステムは重いため、不安定な場所に設置するのは大変危険ですのでおやめください。転倒した場合、故障の原因となることがあります。

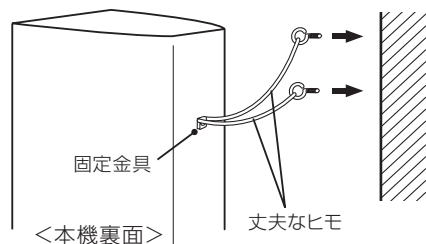
注意

- 本機を設置するときは、必ず転倒・落下防止対策を行ってください。地震などで落下したり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

すべり止めの取り付け

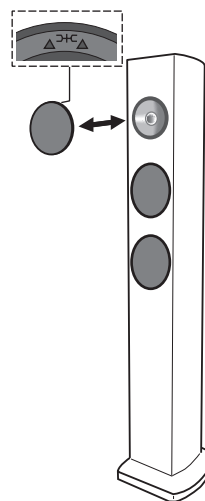
設置する場所に応じて、付属のすべり止めを使用してください。すべり止めは、スピーカーの設置する面の四隅に貼り付けてご使用ください。ただし、設置する場所によって、すべり止めの効果が不十分になることがありますので、すべりやすい場所には設置しないでください。

転倒防止金具の取り付け

- 付属のネジを使って固定金具を裏板のネジ穴に取り付けます。

- 固定金具に丈夫なヒモ（市販）を使用して、確実に本機を柱や壁に固定してください。また、固定する柱や壁は、スピーカーシステムの重量に十分に耐える強度があることを確認してください。固定したあとは、必ず転倒しないことを確認してください。
- 転倒した場合、故障の原因となることがあります。

裏板に取り付けた固定金具を、直接壁に掛けないでください。この金具は転倒防止のため、丈夫なヒモを使用する際にご利用ください。

必ず 2 本の丈夫なヒモを固定金具に取り付けて、上の方に開いて固定してください。

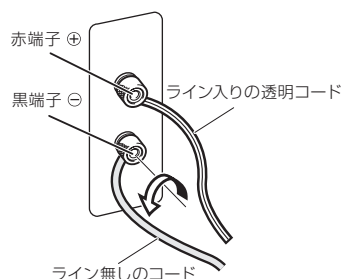
グリルネットの着脱

このスピーカーシステムは、グリルネットを装着してお使いになることを推奨していますが、お好みで取り外すときは、以下の手順にて行ってください。

1. 取り外すときは、グリルネットの外周に指先を引っ掛けて下側を軽く引っ張り、次に上側を軽く引っ張り取り外します。
2. 取り付けるときは、グリルネット裏面にある三角印が上に向くようにして 4 つの突起部をスピーカーの穴に合わせ、押し込みます。

接　続

コードの接続

1. アンプの電源スイッチを切ってください。
   (POWER OFF)
2. スピーカーシステム裏側の入力端子へスピーカーコードを接続します。入力端子の極性は赤がプラス (＋)、黒がマイナス (−) です。
3. スピーカーコードをアンプのスピーカー出力端子につなぎます（詳しくは、アンプの取扱説明書をご覧ください)。

手で入力端子のツマミを左側 ( ) に回して緩め、スピーカーコードの先端を端子の穴に差し込み、ツマミを締め付けます。

接続に関してのご注意

- 本機の入力端子はバナナプラグでの接続も可能です。
- バナナプラグをご使用の際は、入力端子の先端のキャップを外してください。
- 端子に接続したあとコードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプに接続したときに、片方（右または左）のスピーカーシステムの極性（＋、−）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。

仕　様

形式..位相反転式、トールボーイフロア型
スピーカー構成..2 ウェイ方式
　ウーファー ....10 cm コーン型 x 2
　トゥイーター..2.5 cm ドーム型
インピーダンス..6 Ω
再生周波数帯域..38 Hz 〜 40 kHz
出力音圧レベル..84 dB（2.83 V）
許容入力：最大入力 (JEITA) ....120 W
クロスオーバー周波数..3 kHz
外形寸法..........202 mm（幅）x 1006 mm（高さ）x 230 mm（奥行）
質量 ....8.8 kg

付属品

スピーカーコード（3 m）..2
固定金具..2
固定金具用ネジ..2
すべり止め ....2 セット
保証書..1
ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内..1
取扱説明書（本書）

- S-31-LR はスピーカーシステム 2 個入り梱包です。
- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

はパイオニア（株）の開発したPHASE CONTROL技術コンセプトに基づき、録音から再生までの位相特性のマッチングを図った製品に付与される商標です。

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。

特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まるフリーコールおよびフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品	フリーコール 0120−944−222	一般電話　03−5496−2986
■ファックス	03−3490−5718	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など	

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■電話	フリーコール 0120−5−81028（コーパイオニア）	一般電話　03−5496−2023
■ファックス	フリーコール 0120−5−81029	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/repair.html ※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります	

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	098−879−1910
■ファックス	098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～18:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話	フリーダイヤル 0120−5−81095	一般電話　0538−43−1161
■ファックス	フリーダイヤル 0120−5−81096	

平成21年7月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.033

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1482-A>